

久米島町シンポジウム感染症ガイドライン

目的

シンポジウムを実施するにあたり、参加者へ感染症対策の徹底を意識付け、会場内において病原体が持ち込まれるリスクを最小限にとどめ、仮に持ち込まれた場合にも二次感染や医療機関のひっ迫を防ぐことを目的とする。

1.シンポジウム開催前の対策について

シンポジウム当日までの10日以内に、以下の項目に該当する場合には参加を控えましょう。

- ・37.5度以上の発熱、又は平熱を超える発熱があった方。
- ・咳や喉の痛みなど風邪の症状があった方。
- ・倦怠感や息苦しさを感じた方。
- ・味覚や嗅覚に異常を感じた方。
- ・新型コロナウイルス陽性者と濃厚接触者のあった方。
- ・同居者や身近な人に感染症状がみられる方。
- ・当日受付にて検温を実施し、37.5度以上の熱がある方。(入場をお断りします)

2.講演中の対策について

- ・聴講中はマスク着用を義務付けます。
- ・咳エチケットや手指消毒の協力をお願い致します。
- ・必要以外の会話、大きな声での会話を控えましょう。
- ・座席は飛沫対策として1~2mの間隔を開けます。

3.講演終了後について

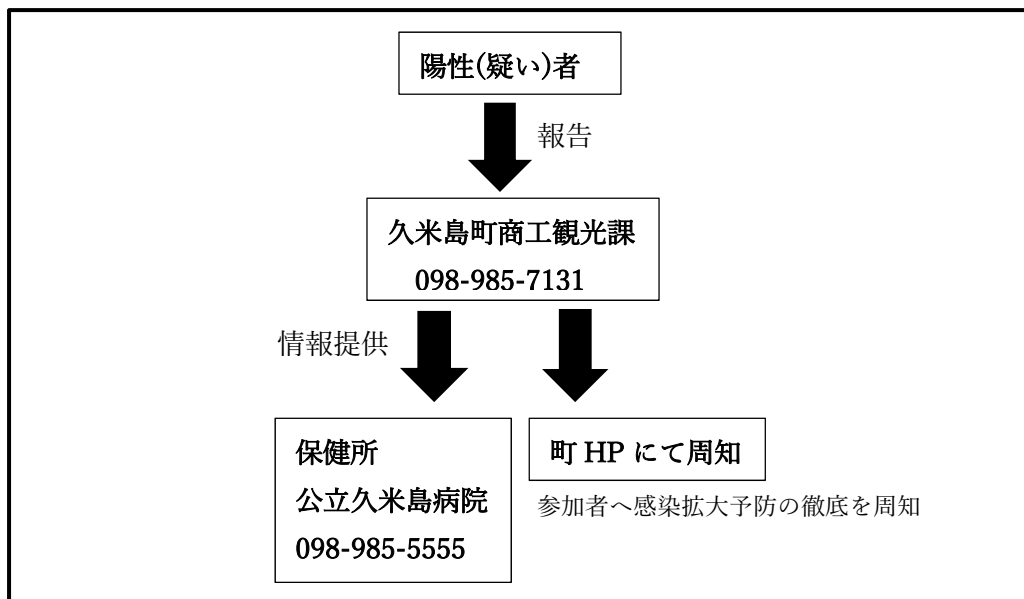
- ・シンポジウム終了後、10日以内に感染及び感染が疑われる症状を発生した場合は、速やかに事務局へ連絡して下さい。

4.登壇者の感染症対策について

- ・登壇者は飛沫対策として十分な距離を確保する。(2m以上の間隔を開ける)
- ・マイクは1人1本の使用とする。
- ・登壇者間にパーテーションを設置する。(マスク着用は義務付けない)

5. 新型コロナウイルス感染症陽性者が確認された場合の対応

- ・ シンポジウム後2日以内に陽性者が確認された場合



6. シンポジウム中に体調不良者が確認された場合の対応

